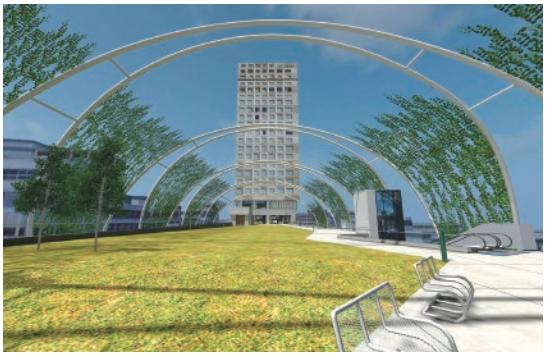
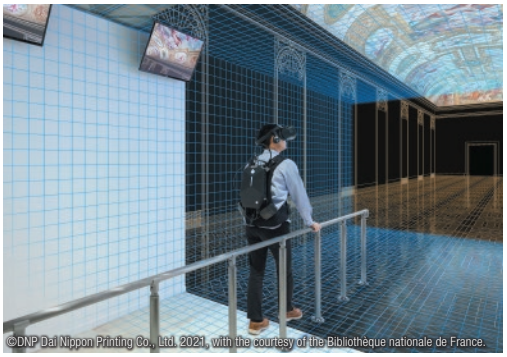
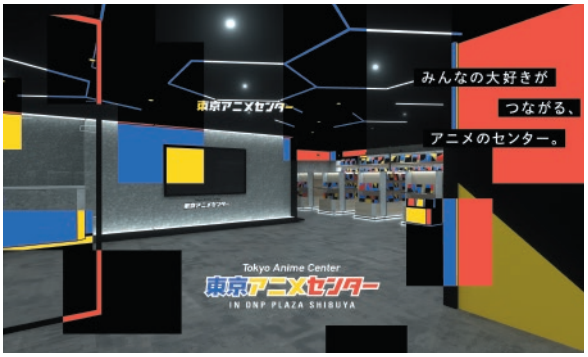
DNP Report Vol.117
株主通信（証券コード：7912）

[特集] 注力事業領域の取り組み
～スマートコミュニケーション部門～







DNP

TOP MESSAGE　株主の皆様へ

代表取締役社長
北島 義斉（よしなり）

このたびの令和6年能登半島地震により、お亡くなりになった方々に謹んでお悔み申しあげますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申しあげます。また、被災者の救済と被災地の復旧・復興にご尽力されている方々に深く敬意を表します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

DNPグループは、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」という企業理念に基づき、持続可能なより良い社会とより心豊かな暮らしの実現に努めています。独自の「P&I(印刷と情報)」の強みを掛け合わせ、多様なパートナーとの連携を深めて新しい価値を創出し続けることで、「より良い未来」を自らつくり出していきます。

中長期を見据えたこうした取り組みの中で、現在は「中期経営計画」(2023-2025年度)の初年度の活動を推進しています。

「事業戦略」として、強靭な事業ポートフォリオの構築を進めるとともに、注力事業領域に経営のリソースを集中させて、価値の創出を加速させています。この事業ポートフォリオと各事業セグメントとの関係については、3ページの図をご参照ください。今回の株主通信「DNP Report」では、注力事業領域の一つとして、スマートコミュニケーション部門の新規事業「コンテンツ・XRコミュニケーション関連」の取り組みをご紹介します。4-5ページの「特集」をご覧ください。

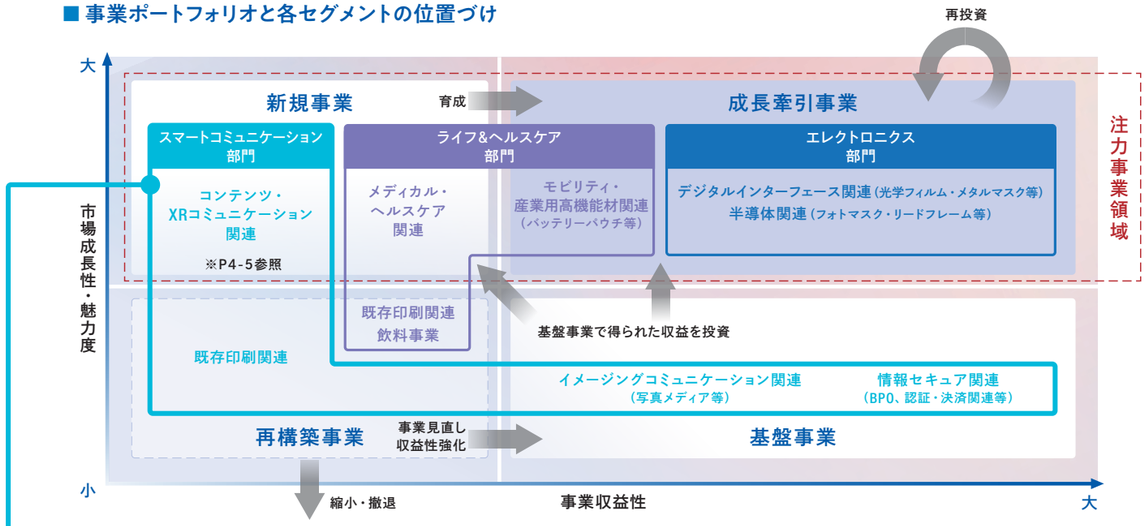
また私たちは、「中期経営計画」の「財務戦略」「非財務戦略」を通じて、長期的な成長を支える経営基盤の強化に努めています。「財務戦略」では、創出したキャッシュを事業のさらなる成長への投資と株主還元に適切に配分していきます。「非財務戦略」では、「人への投資の拡大」「知的資本の強化」「環境への取り組み」を中心に、さまざまな施策を推進していきます。自然災害をはじめとする不測の事態に対しても、事業継続マネジメント(BCM)の徹底を図り、グループを挙げて企業活動の持続可能性を高めていきます。

2024年3月期第3四半期(2023年4-12月)は、「スマートコミュニケーション」「ライフ&ヘルスケア」「エレクトロニクス」の三つの事業部門(セグメント)で、成長牽引事業と新規事業の注力事業領域を中心として、社会と人々が望む価値の創出に取り組みました。その結果、当期間の連結業績は、売上高が前年同期比3.7%増の1兆612億円、営業利益が16.6%増の520億円、経常利益が18.4%増の682億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却にともなう特別利益の計上もあり、52.9%増の985億円になりました。

私たちDNPは、中期経営計画の初年度の目標達成に努めるとともに、2年目以降のさらなる挑戦につなげて、持続的な事業価値・株主価値の創出に注力していきます。株主の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様との対話を深め、協働させていただくことで、「より良い未来」の実現につなげていきます。

今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申しあげます。

■ 事業ポートフォリオと各セグメントの位置づけ



成長牽引事業・新規事業からなる注力事業領域への集中投資と事業構造改革を推進し、事業環境の変化に対して強い事業ポートフォリオの構築をめざす

■ スマートコミュニケーション部門　【新規事業と基盤事業】

【新規事業】の「コンテンツ・XRコミュニケーション関連」に加え、世界トップシェアの写真プリント用製品を含む「イメージングコミュニケーション関連」と、国内トップシェアのICカードや、BPO・認証セキュリティ等の「情報セキュア関連」の【基盤事業】に注力していきます。また、「マーケティング関連」「出版関連」「教育関連」の事業の強みとも掛け合わせて、グローバルな価値創出に努めていきます。

コンテンツ・XRコミュニケーション関連

バーチャル秋葉原

新規事業

イメージングコミュニケーション関連

世界トップシェア

写真プリント用 昇華型熱転写記録材

情報セキュア関連

国内トップシェア

ICカード

BPO事業（イメージ）

基盤事業

[特集] 注力事業領域の取り組み ～スマートコミュニケーション部門～

DNPグループは今、新規事業の一つとして「コンテンツ・XRコミュニケーション関連」を位置づけています。リアルとバーチャルの空間を融合するXR（Extended Reality）技術や高精細画像処理技術、情報セキュリティ等の強みを掛け合わせ、国内外の企業・団体等と協業して、人々に安全・安心な新しい体験価値を提供していきます。

スマートコミュニケーション部門

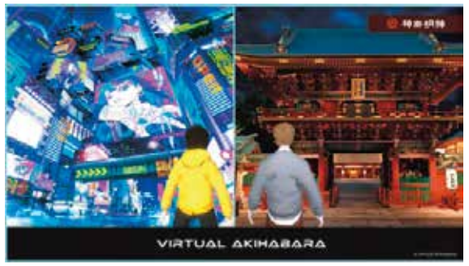
【当部門の基本戦略】

- 投下資本とキャッシュ創出のバランスを見ながら効率投資
- コアバリューを活かし、国内外の企業との協業・サービス開発を検討
- 市場トレンド・事業規模に応じた拠点・体制の適正化

注力事業領域／新規事業

【コンテンツ・XRコミュニケーション関連】

DNPは、世界中の多様なIP（Intellectual Property：知的財産）ホルダー、クリエイターとのネットワークを強みとしています。また、デジタルアーカイブや情報セキュア等の事業で培った高精細画像処理技術や複雑な版権処理等のノウハウ、個人や情報の安全・確実な認証と、大量な重要データのセキュアな流通、複雑で広範なビジネスプロセスの統合・最適化などの強みを有しています。これらの強みを掛け合わせてリアルとバーチャルとを安全かつシームレスにつなぎ、情報社会の進展の中で人々に新しい価値を提供していきます。メタバース関連の世界市場は、今後さらに拡大する見通しであり、DNPも「新規事業」として本事業の拡大に努めていきます。



リアルとバーチャルの空間を融合する「バーチャル秋葉原」

事業戦略・投資計画

- IPホルダーのファン向けに、東京アニメセンターやWeb3を活用し、リアルとバーチャルを横断する独自のファンサービス事業の早期事業化
- 認証セキュリティ技術、AIによるDXサービス、BPO（Business Process Outsourcing）を含めた企業活動をリアルとバーチャルの双方で支える事業の構築
- 国内外の美術館・ギャラリー・文化施設等とともに10万点以上の作品をデジタルアーカイブ化した実績をもとに、文化・地域の発展につながる新しい顧客体験価値を提供する事業の構築

※「XRコミュニケーション」はDNP大日本印刷の登録商標です。
※ XRはクロスリアリティとも呼ばれ、VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）など、リアルとバーチャルの強みを掛け合わせて新たな体験をつくり出す先端技術の総称。

バーチャル東京アニメセンター
© The Association of Japanese Animations (AJA).
© Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DNPバーチャルエクスペリエンス VRプレゼンゲートウェイ

企業広告「DNPの一面!」

2023年11月30日開始

「メディカル・ヘルスケア」篇・「XRコミュニケーション」篇の放送をスタート！

企業広告の新シリーズ「DNPの一面!」では、DNP社員がつくり出す新しい価値の「一面」を紹介します。社内外のパートナーとともに価値を生み出し、未来をより良いものにしたいという志を持って日々取り組む社員を取り上げていきます。俳優・濱田岳さんがフリーライター役となって、熱い想いで価値創出に注力する社員を取材し、新聞の「一面記事」のように表現します。この広告シリーズは、テレビCM・Webメディアをはじめ、幅広く展開していきます。

メディカル・ヘルスケア篇　XRコミュニケーション篇

主な事業展開の例

地域共創型XRまちづくり

DNPは「地域共創型XRまちづくり PARALLEL CITY」を通じて、「見るだけ」から「体験する」へと、地域コンテンツの価値を高めていきます。実在の場所（リアル）と、そこを3Dデジタル化したバーチャル空間をシームレスに連動させて、地域や施設等の魅力を拡張。観光客や住民・企業・団体等の利用者は、メタバースならではの「XRコミュニケーション」で交流を深め、地域への理解・共感につなげることができます。

渋谷区立宮下公園
Powered by PARALLEL SITE

バーチャルプロダクション向けに「銀座四丁目交差点」の3DCGデータを提供

コンテンツコミュニケーション

アニメ・マンガ・ゲーム等のIP（知的財産）ホルダーと協業し、コンテンツの魅力を国内外に発信します。リアルとデジタル双方の多様な表現手法を掛け合わせ、コンテンツを起点として、生活者とクリエイター等をつなぎます。

東京アニメセンター in DNP PLAZA SHIBUYA

デジタルアーカイブ

美術館・博物館、図書館、公文書館等に向けて、文化財・アート作品の保存と活用を両立させるデジタルアーカイブ事業を展開。絵画や立体作品、建築物等の高精細デジタル化と各種コンテンツ制作、新しい鑑賞方法の開発・提供など、トータルなソリューションを展開しています。

DNPコンテンツインタラクティブシステムの一つ「みどころウォーク®」を活用した「マザラン・ギャラリー」VR空間体験イメージ
©DNP Dai Nippon Printing Co., Ltd. 2021, with the courtesy of the Bibliothèque nationale de France.

マーケティング支援

企業の姿勢や商品・サービスへの想いについて、生活者の理解・共感を深めるため、XR技術を活用した“体験型”のマーケティング施策を支援。リアルとバーチャルの空間の良さを掛け合わせ、各種サービス利用者の体験価値を高めていきます。企業活動への共感やブランド価値を向上させる新しいコミュニケーション手法を開発・提供します。

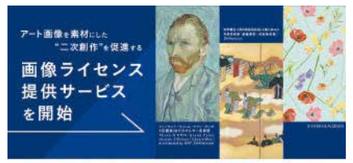
メタバース空間で、株式会社ブルボンの創立100周年のコミュニケーション施策を支援

TOPIC 2023年12月5日発表

アート作品を使った二次創作を促進するライセンスサービス「イメージアーカイブ・ラボ」を開始

DNPグループは、GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社、株式会社日比谷花壇等と連携し、主に個人クリエイターに向けて、アート作品の二次創作を促進する画像ライセンス提供サービスを開始しました。

画像ライセンス（利用許諾）の購入によって、多種多様な作品画像を素材とした創作活動を正式に行うことができます。



Pickup News

2023年9月22日発表

「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」にメタバースの機能等を提供

仮想空間での子どもたちの居場所や学びの場の展開へ

東京都は、不登校や日本語の指導が必要な児童・生徒の居場所・学びの場「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」の構築・運営を推進中。この取り組みに、DNPがレノボ・ジャパン合同会社とともに進める3D(3次元)メタバースが採択され、2023年9月から本格運用を開始しました。仮想空間でアバターを使ったコミュニケーションや学習を実現するなど、教育の新たな可能性を開拓していきます。

「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」イメージ

2023年11月29日発表

リチウムイオン電池用バッテリーパウチの工場として米国に建設用地を取得

電気自動車の需要拡大を見込む米国市場に対応

DNPは1990年代後半に、長年培った印刷技術の一つ「コンバーティング技術(材料加工技術)」を活かし、リチウムイオン電池の外装材「バッテリーパウチ」の実用化に成功しました。従来の金属缶タイプと比べて、フィルムタイプのDNPの製品は、軽量で加工しやすく、熱による変形等にも強いといったメリットがあります。現在、国内外の電池メーカーに提供し、高い品質と実績が評価されて世界トップのシェアを獲得しています。国内で戸畑工場(福岡県)と鶴瀬工場(埼玉県)で本製品を生産しているほか、海外のDNPデンマークで本製品のジャンボロールのスリット加工工場を新設するなど、適地での生産・供給体制を構築しています。今回、さらなる伸長が見込まれる米国市場の需要に対し、米国ノースカロライナ州で新たなバッテリーパウチ工場の建設用地を取得しました。

2023年12月12日発表

3ナノメートル(nm)相当のEUVリソグラフィ向けフォトマスク製造プロセスを開発

回路線幅の微細化が進む半導体市場のニーズに対応

DNPは、半導体製造の最先端プロセスであるEUV(Extreme Ultra-Violet:極端紫外線)リソグラフィに対応した、3nm(nm=10億分の1メートル)相当のフォトマスク製造プロセスを開発しました。3nmプロセスは2024年2月現在、世界最先端の製品化されたロジック半導体(演算処理用)であり、DNPは、特に曲線パターンに対するフォトマスク用データ補正技術と加工条件の最適化により今回の開発を実現させ、世界最先端の半導体に対応したフォトマスクを安定的に供給可能になりました。DNPは今後も3nmより微細な2nm以降のプロセス開発も進めていきます。

3ナノメートル相当のEUVリソグラフィ向けフォトマスク

2023年12月12日公表

「新光電気工業株式会社の株式取得を目的とする特別目的会社への出資に関するお知らせ」を公表

DNPは、次世代半導体パッケージの重要部材である「有機インターポーザ」や「TGV(Through Glass Via:ガラス貫通電極)ガラスコア基板」等の開発を進めています。また、光電融合などの次世代の技術に対応したビジネスを展開し、半導体サプライチェーンに提供する価値の拡大に取り組んでいます。昨今では、大手半導体メーカーがガラスコア基板の採用を公表し、チップレット等の次世代半導体技術が注目されるなど、こうした市場のニーズに対して新しい価値の提供をしていきます。

なお、当該特別目的会社プレスリリース「新光電気工業株式会社(証券コード:6967)に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」に記載の通り、本公開買付けは、国内外の競争法並びに国外の投資規制法令等に基づく必要な手続及び対応に一定期間を要すると想定されています。そのため、本公開買付けは2024年8月下旬の開始をめざしているものの、国外の競争当局及び投資規制法令等を所管する当局における手続等に要する期間に影響されます。

2024年3月期第3四半期決算のご報告 (2023年4月1日～12月31日)

連結業績の概況 (単位:億円)

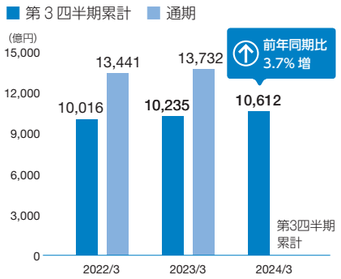
科　目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	10,612	10,235
営業利益	520	445
経常利益	682	576
親会社株主に帰属する四半期純利益	985	644

連結業績の予想 (単位:億円)

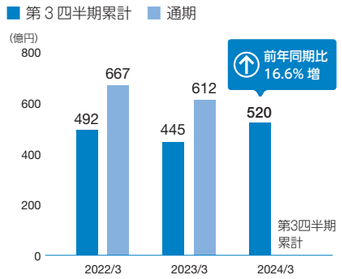
科　目	2024年3月期通期(対前期増減率)
売上高	14,100 (+2.7%)
営業利益	670 (+9.4%)
経常利益	780 (△6.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	880 (+2.7%)

1株当たり当期純利益350円41銭

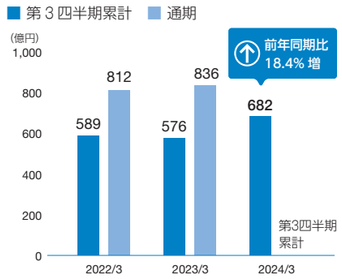
連結売上高



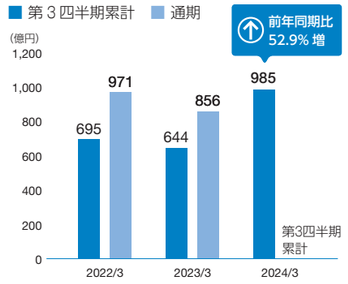
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科　目	当第3四半期連結会計期間末	前連結会計年度末
資産の部	18,879	18,303
流動資産	7,993	8,029
固定資産	10,885	10,273
負債の部	7,067	6,821
流動負債	4,094	3,985
固定負債	2,973	2,835
純資産の部	11,811	11,482

スマートコミュニケーション部門

写真プリント用 昇華型熱転写記録材

売上高 **5,321億円**　前年同期比 **0.2%減**

営業利益 **159億円**　前年同期比 **11.2%減**

写真のプリント用部材が好調に推移したほか、BPOの大型案件やICカードが増加したものの、紙媒体を中心とした減収のほか、原材料費等の上昇の影響を受け、減収・減益となりました。

ライフ&ヘルスケア部門

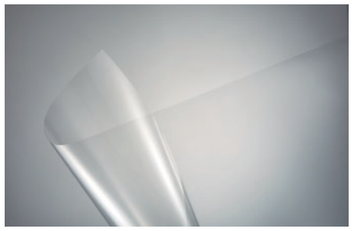
リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

売上高 **3,565億円**　前年同期比 **5.2%増**

営業利益 **105億円**　前年同期比 **71.2%増**

リチウムイオン電池用バッテリーパウチや太陽電池用部材が堅調に推移。原材料費やエネルギー費の上昇ペースが落ち着き、価格転嫁の不足影響が緩和されたことにより、増収・増益となりました。

エレクトロニクス部門



ディスプレイ用光学フィルム

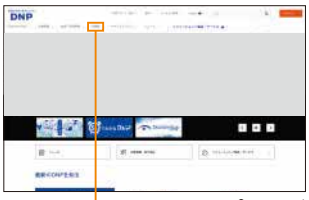
売上高 **1,744億円**　前年同期比 **13.8%増**

営業利益 **423億円**　前年同期比 **17.6%増**

半導体関連の売上減少に加え、原材料費等のコスト上昇の影響を受けたものの、有機ELディスプレイ製造用メタルマスクが堅調に推移し、光学フィルムも増加に転じ、増収・増益となりました。

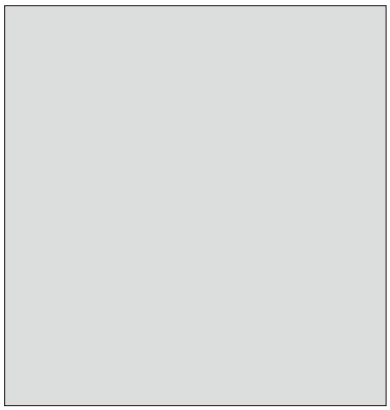
DNPのWebサイトのご案内

最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。



トップページ

IR情報トップページ



CM連動ページ

●DNPのWebサイトURL

- トップページ
  https://www.dnp.co.jp/
- IR情報はこちら
  https://www.dnp.co.jp/ir/
- 株主通信「DNP Report」はこちら
  https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/
- CMと連動したWebページはこちら
  https://www.dnp.co.jp/brand/

IRニュース

■ 2023年10月30日
DNPグループ2023サステナビリティ説明会動画を公開しました。

■ 2023年11月15日
2024年3月期 第2四半期 決算説明会動画を公開しました。

■ 2023年12月12日
新光電気工業株式会社の株式取得を目的とする
特別目的会社への出資に関するお知らせ

機関投資家・アナリスト向け サステナビリティ説明会動画

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日　その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日　　中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号　みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のWebサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1.住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

● **証券会社等に口座をお持ちの株主様**
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店

● **証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)**
(お問い合わせ先)　みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
(お手続き窓口)　みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申しあげます。

2.未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

(お支払窓口)　みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行　本店および全国各支店

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社　IR・広報本部 IR室

〒162-8001　東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号　TEL：03-3266-2111(大代表)

2024.3

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。